座標軸に表して考える

個　人
グループ
学級全体

座標軸の用紙
付箋

収集した情報や，自分の考えを座標軸を使って整理して，考えます。

利　点

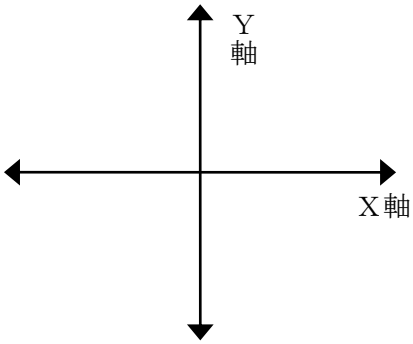
・二つの視点（Ｘ軸とＹ軸）で情報を分類するのに役立つ。
・先に視点が示されているので，分類しやすい。

手　順

１　収集した情報（考え）を付箋に書く。
　　（一つの情報につき，付箋を一枚使う）

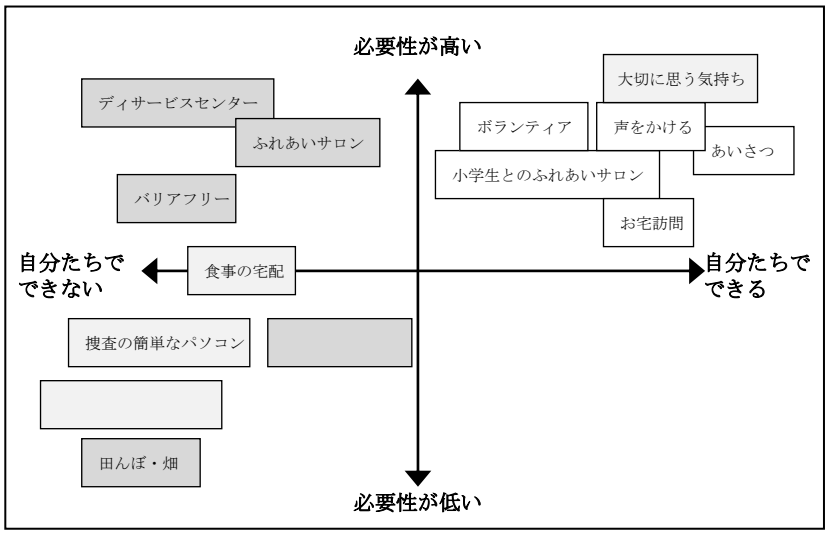
２　Ｘ軸とＹ軸の二つの軸が何を表すのか（視点）を決める。

３　座標軸のどの象限に位置付けるとよいかを考えながら付箋を置いていく。



座標軸の実践例

《やさしい町にするために「自分たちができること」を考える》



自分たちが考えるやさしい町にするためにあったらいいなと思う「取組・行事」「設備・施設」「その他」を付箋に書いて，四つの象限に分類する。

取組・行事
設備・施設
その他

左の整理した座標軸を見て気付いたことを出し合い，そこから考える。

（例）　自分たちでできて必要性の高いことは，「取組・行事」が多い。相手を大切に思う気持ちを大切にして，進んで関わりをもっていくことが大切だ。逆に，自分たちでできないけど必要性の高いことは，「設備・施設」が多い。確かに設備や施設を自分たちがつくることは無理だけど，行政に働きかけることはできる。区役所の人にお願いしてみよう。